

ラン科

イワチドリ

Amitostigma keiskei (Maxim. ex Franch. et Sav.) Schltr.

兵庫県ランク… EW
環境省ランク… EN

■ 県内分布

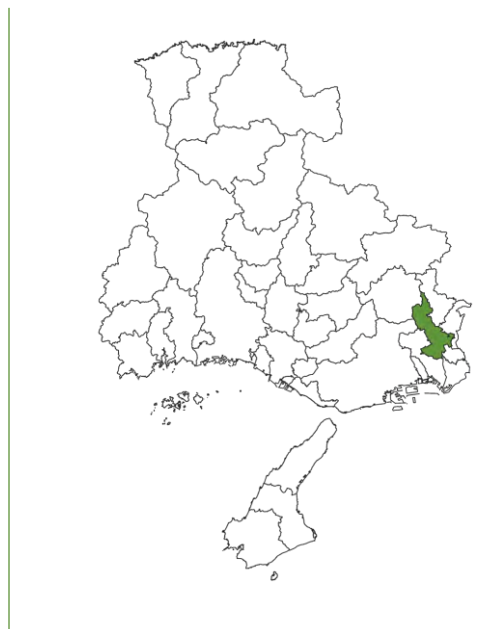
宝塚市

■ 国内分布

本州(中部、近畿)、四国

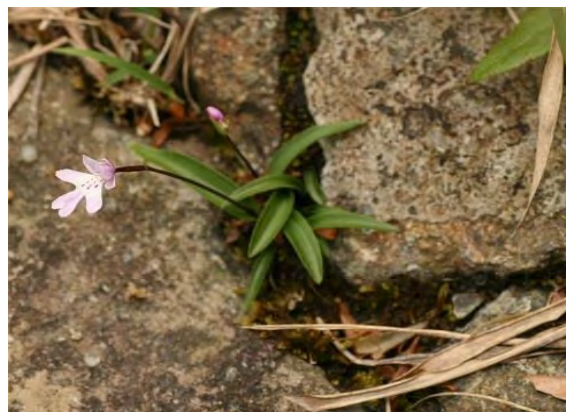
■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取	○	特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

2000年代に見つかったことで2010年版に掲載されたが、出水で流されたことで残り1個体となり、圃場で保護されている。2020年版でAランクからEWに変更した。



写真提供: 足立 勲

■ 保護上の留意点

増殖し、生育地である河辺岩上に戻す必要がある。

■ 種の概要

谷間の岩上に生える。茎は紡錘状に肥厚する根より出て、高さ5-15cm、茎の中央より下に1葉がある。葉は長楕円形、長さ3-7cm、幅6-15mm、基部は茎を抱く。花は淡紅紫色、4-6月に数個が一方に傾いてつく。唇弁は長さ10-12mm、3深裂し、中裂片の先端がさらに2裂する。その表面の中央より基部にかけて紅紫色の小点が2列に並ぶ。